

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
証券コード	4462
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し ており、そのアドレスは次のとおりです。 <a href="http://www.unicon.co.jp/">http://www.unicon.co.jp/</a>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

インターネットホームページアドレス  
<http://www.unicon.co.jp/>



# 第73期

## 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

石原薬品株式会社

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年3月の東日本大震災により、被災されました株主の皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、当社は平成23年3月31日をもって、第73期の決算を終了いたしましたので、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできますよう、業績の向上に全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長 竹森莞爾

## 事業の概況

当期におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国の需要回復やエコポイントなどの国内の消費刺激策を背景に前半は緩やかな回復基調で推移しましたが、後半に入り国内政策効果の一巡もあり個人消費も弱含み、海外経済の減速感の台頭、円高などの懸念要因もあり先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、売上高は、14,209百万円（前年比10.8%増）、営業利益は、922百万円（前年比58.3%増）、経常利益は945百万円（前年比49.8%増）となりましたが、投資有価証券評価損及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額の計上により、当期純利益は、458百万円（前年比24.1%減）となりました。なお、平成3年の大阪証券取引所への株式上場につき、平成23年3月11日付で東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

### （電子関連分野）

電子関連分野が対応する電子部品業界は、薄型テレビ、パソコン、携帯電話などのアジア市場向けデジタル機器需要が伸び電子部品の拡大が続きましたが、欧米や日本の景気先行き不透明感が強まる中、期後半には電子部品・デバイス関連の在庫増に伴い生産調整局面に入りました。電子関連分野全体の売上高は、8,263百万円（前年比15.9%増）となりました。

#### ア. 金属表面処理剤及び機器等

このような電子関連分野の状況下、めっき液の需要は後半に入りやや弱含みで推移しましたが、半導体パッケージのリードレス化が加速する中で、対応するパンプめっき液は、国内・海外とも好調に推移しました。一方、化成処理液自動管理装置及び試薬は、プリント基板関連、フラットパネル関連とも海外を中心に設備投資が再開し装置の受注が伸び、また、ユーザーの生産稼働率の向上により試薬需要の回復もあり、販売は好調に推移しました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、6,769百万円（前年比24.5%増）となりました。

#### イ. 電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、需要先のセラミックコンデンサの生産減による納入数量減、競合参入による販売単価下落により低迷しました。一方、機能材料加工品は、対応する半導体製造業界の生産が活発化し、液晶製造装置業界も順調に回復し機能材料の部品需要が

伸びました。この結果、電子材料の売上高は、1,493百万円（前年比11.6%減）となりました。

#### （自動車用品分野）

自動車用品分野は、前半、新車販売が好調で活気を帯びましたが、政策効果の一巡による新車販売の落ち込みもあり後半は低迷しました。自動車用品市場では、自動車補修において軽微なキズを補修しない傾向やガソリンスタンドの統廃合によるスタンドの減少など自動車用ケミカル品の使用量減の傾向で市場規模の縮小が続きました。このような状況下、カーメーカー向けエアコン洗浄剤は、エアコンフィルター交換時に同時施工を推進したことにより大きく伸び、また、補修用コンパウンドも新製品が順調に伸びたこともあり、自動車用品分野の売上高は、1,579百万円（前年比6.3%増）となりました。

#### （工業薬品分野）

工業薬品分野が対応する鉄鋼業界は、国内建設需要の低迷が続く中、中国・アジア諸国向け高級鋼材輸出が堅調に推移し、国内での新車販売台数の伸びやエアコンの販売の伸びなどにより鋼材需要が伸びました。これらを受け鋼板用一般薬剤、特殊薬剤の需要が伸びました。また、化学、環境向け薬剤も受注が増え工業薬品分野の売上高は、4,366百万円（前年比3.7%増）となりました。

## 対処すべき課題

当社は、4つの事業をバランスよく展開し、安定的な業績の向上を目指しております。当面の各事業及び全般での課題は、次のとおりであります。

- ① 電子関連分野…中長期的に成長が見込まれる分野であり継続的に研究開発投資を行い新製品開発、市場導入を積極的に進めていく。
  - ア. 金属表面処理剤及び機器等
    - ・金属表面処理剤
 

欧州の化学物質規制のRoHS指令が2006年7月より発効し、国内外において電気・電子機器の分野で鉛、水銀など6物質の対象物質の使用制限が進んでおり、めっき液においては、指令対応として鉛フリーめっき液への転換が進行している。一方、電子機器等の小型化に伴い電子部品は小さくなり材料や実装方法も変わり、めっき特性が変わる場合があり部品用途・材質に適した各種のめっき液の開発、市場導入が不可欠になっている。当社は、研究開発体制を充実させ、IC、チップ部品等のめっき液、パンブ対応のめっき液、TAB、COF対応のめっき液など各種に対応しためっき液を開発し市場に導入している。製品開発力・技術サポート力を基盤にユーザーの生産性向上に貢献し、売上拡大と新規ユーザーの獲得、市場でのシェアアップをはかっている。また、新たな分野である回路形成用銅めっき液市場での売上拡大に取り組んでいく。  
（注）RoHS指令：欧州での有害物質使用制限指令（一部を除く電気、電子機器製品への鉛等の有害物質の使用禁止措置）
    - ・機器等
 

プリント基板、フラットパネルの製造工程で使用する化成処理液の自動管理装置について、ユーザーの生産コスト低減、工程改善による生産合理化装置やユーザーの要求仕様による装置の開発を継続し、導入促進を働きかけていくとともに、当社技術の応用、展開が可能な新分野の市場開拓を積極的に促進していく。
  - イ. 電子材料
    - ・ニッケル超微粉
 

ユーザーとメーカーとの連携を強化し、安定的に供給できる体制を整備していく。
    - ・機能材料加工品
 

短納期対応及び素材の特色を広くPRし、医療用機器、半導体製造装置、液晶製造装置向けの部品需要のみならず、新たな分野、販売先からの受注に結び付けられるよう加工技術の向上、顧客情報の管理強化、営業力の強化をはかっている。
  - ウ. 新規電子材料
 

ナノ金属を中心とした新規電子材料の開発及び市場開拓等の事業化をはかっている。
- ② 自動車用品分野…業務用自動車ケミカルを中心に環境等をテーマにした商品開発、市場開拓を推進し、店内シェアアップを目指し事業の収益率を改善していく。
- ③ 工業薬品分野…鉄鋼関連得意先グループとの取引拡大はもとより、電子関連分野、環境・公共事業体分野での商品開発、市場開拓を推進し更なる売上拡大をはかっている。
- ④ 事業を安定的に展開するため、生産場所の分散による生産体制のリスクヘッジ及び生産能力の視点から工場取得、生産設備の増強をはかっている。

株主の皆様のご協力に厚くお礼を申しあげますとともに、今後のご支援とご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (平成23年3月31日)	前 期 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,979,638	8,925,056
固定資産	7,967,425	7,087,177
資 産 合 計	16,947,064	16,012,233
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,101,321	3,050,307
固定負債	526,980	425,194
負 債 合 計	3,628,301	3,475,501
<b>純資産の部</b>		
株主資本	13,546,289	12,787,173
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,721,281
利益剰余金	10,357,183	10,106,925
自己株式	△ 85	△ 488,313
評価・換算差額等	△ 227,526	△ 250,442
純 資 産 合 計	13,318,762	12,536,731
負債・純資産合計	16,947,064	16,012,233

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	前 期 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	14,209,024	12,823,071
売上原価	10,362,560	9,432,027
売上総利益	3,846,463	3,391,043
販売費及び一般管理費	2,923,663	2,807,948
営業利益	922,800	583,095
営業外収益	86,720	79,245
営業外費用	63,634	30,883
経常利益	945,887	631,456
特別利益	532	202,029
特別損失	301,128	35,860
税引前当期純利益	645,291	797,625
法人税、住民税及び事業税	213,767	266,352
法人税等調整額	△ 26,825	△ 72,860
当期純利益	458,349	604,134

## 株主資本等変動計算書 (要旨)

(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (単位：千円)

項 目	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
前期末残高	1,447,280	1,721,281	10,106,925	△ 488,313	12,787,173	△ 250,442	12,536,731
当期変動額							
別途積立金の積立			—		—		—
剰余金の配当			△ 208,091		△ 208,091		△ 208,091
当期純利益			458,349		458,349		458,349
自己株式の取得				△ 51	△ 51		△ 51
自己株式の処分		20,628		488,280	508,908		508,908
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						22,915	22,915
当期変動額合計	—	20,628	250,258	488,228	759,115	22,915	782,030
当期末残高	1,447,280	1,741,909	10,357,183	△ 85	13,546,289	△ 227,526	13,318,762

## キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	
	当 期 (自 平成22年4月 1 日 至 平成23年3月31日)	前 期 (自 平成21年4月 1 日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,681	1,148,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 696,886	△ 163,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	262,281	△ 276,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16,712	△ 4,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	398,364	704,709
現金及び現金同等物の期首残高	3,738,322	3,033,613
現金及び現金同等物の期末残高	4,136,687	3,738,322

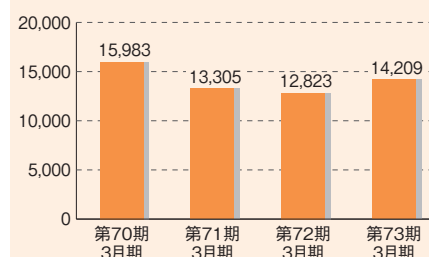
## セグメント別売上高

(単位：百万円)

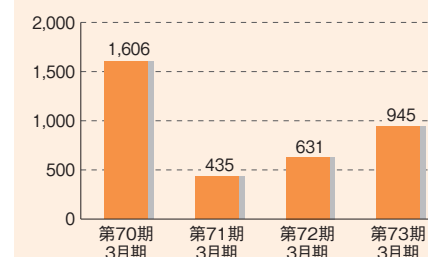
セグメント	期 別		前 期	
	当 期 (自 平成22年4月 1 日 至 平成23年3月31日)		前 期 (自 平成21年4月 1 日 至 平成22年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
金属表面処理剤及び機器等	6,769	47.7%	5,438	42.4%
電子材料	1,493	10.5	1,688	13.2
電子関連分野計	8,263	58.2	7,127	55.6
自動車用化学製品等	1,579	11.1	1,486	11.6
工業薬品	4,366	30.7	4,209	32.8
総 計	14,209	100.0	12,823	100.0

## 財産及び損益の推移

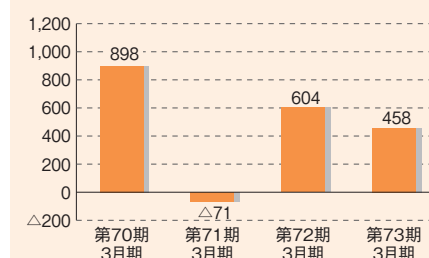
●売上高 (百万円)



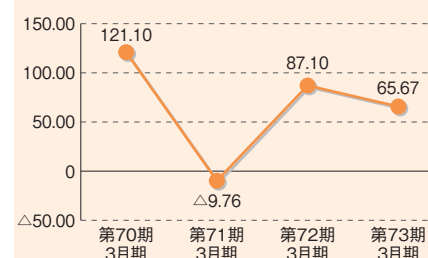
●経常利益 (百万円)



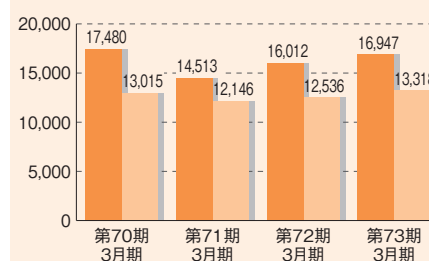
●当期純利益又は純損失(△) (百万円)



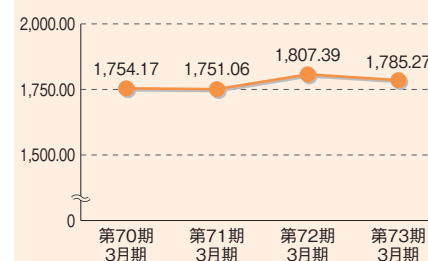
●1株当たり当期純利益又は純損失(△) (円)



●総資産・純資産 (百万円)



●1株当たり純資産額 (円)



## 会社の概況 (平成23年3月31日現在)

### ■ 会社概要

商号	石原薬品株式会社 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.
創業	明治33年4月15日
設立	昭和14年3月3日
資本金	14億4千7百28万円
従業員数	184名

### 主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

### ■ 事業所

本社	神戸市兵庫区西柳原町5番26号
東京支店	東京都台東区台東2丁目26番11号
滋賀工場	滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

### ■ 役員

代表取締役社長	竹森莞爾
代表取締役専務取締役	時澤元一
常務取締役	松村伊佐雄
常務取締役	浅野真司
常務取締役	酒井保幸
取締役	大竹祥司
取締役	工藤富雄
常勤監査役	福田英章
常勤監査役	山畠一延
監査役	菱田正登
監査役	岡本茂

### ■ 株式の状況

① 発行可能株式総数	15,650,000株
② 発行済株式総数	7,460,440株
③ 株主数	2,121名
④ 単元株式数	100株
⑤ 大株主の状況 (上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
石原薬品取引先持株会	454	6.0
日本生命保険相互会社	379	5.0
株式会社三井住友銀行	346	4.6
石原薬品従業員持株会	232	3.1
株式会社みずほコーポレート銀行	223	2.9
株式会社池田泉州銀行	219	2.9
第一生命保険株式会社	211	2.8
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.8
川村邦子	156	2.1
岡田幸能	145	1.9

(注) 持株比率は自己株式(91株)を除いて計算しております。

### 株主ご優待情報

弊社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

- 対象 決算期日(3月末日)時点の当社株主名簿に記載された500株以上保有の株主の皆様
- 内容 株主総会終了後(6月末~7月初旬)、次の基準の保有株式数に応じて、グルメギフトを贈呈させていただきます。

保有株式数	優待内容
500株以上1,000株未満	グルメギフト(3,000円相当)
1,000株以上	グルメギフト(10,000円相当)